

チャコさんの 介護日記 思い出篇



2012年4月7日

富岡桜が丘にて チャコさん最後のお花見

義母は生前テレビに出たが
っていた。(チャコさんの介護日記
17 ページの回想シーン)



2013年4月16日、義母の夢を
叶える為、チャコさんの介護日
記をNHK-Eテレ「ハートネットTV」
宛に郵送した。



約半月後の5月1日、留守番
電話にメッセージが録音され
ていた。



そして5月11日、担当ディレクターが
打合せにやって来た。



2013年5月19日、我が家に3人の
取材スタッフが到着。思ったより
本格的な機材が沢山運び込ま
れた。



最初に漫画を描くシーンを撮影。
その流れで娘ムコがインタビューを
受けた。



今度は夫婦揃ってインタビューを
受ける。当時9歳の従姉妹の子供が
熱心にこの漫画を読み、「チャコさんに
会いたい」と昨年9月、ここに来てくれました。



途中2回のテロップチェンジをはずみ、
最後に義母の遺影をもう一度映し、
30分以上に及ぶ撮影は終了した。





義理堅い義母は、自分が娘の
家に来た時の事が気になっている。

あたしをここへ連れて
来た時、息子は手土産
を持って来たのかよ？



菓子折を
持って来たわよ。



箱は、こ～んなに
大きくて…



中味は
ちょっ、ちょっ、
ちょっ…



何か苦い思い出でもあるのだろうか？

娘の入浴中、義母が退屈しない様
こんな事をして気を
紛らわせた時期も
あった。



はい、これ
象です。

すごい！
すごい！



あんだ、
器用だね。

中でも義母の一番のお気に入り
は、ハンカチの扇であつた。

では、よく
見て下さい。



ハイ！

すごいね！



これ、
素敵だね！ 扇が開くところを
特に気に入っていたようだ。





義母は娘の家に来た頃、よくこんな事を言っていた。



義母はここぞという時に気合を入れる。



1991年11月3日、結婚の許しを得る為に訪れた未来の娘ムコの靴に、義母が興味を持った。



義母が80歳位の時、孫娘に昔の写真を見せたことがあった。







義母は認知症だが昔の事はよく覚えている。

お母さん、おはよう。

よっちゃん、あたいのゲタはよ?

今朝は約70年前に戻ったようだ。

第2次世界大戦の話をする事もある。

B29が来て恐かったよ。

大変だったわね。

また、ある時はこんな自慢話もしていた。

昔はもてたんだよ。

へえ~ そうなの?

男の人が列をなして来たよ。



当時もてたかどうかは別として、義母が亡くな。たあとで、22歳の時の写真が出て来た。

昭和21年当時としては珍しい洋服姿(義母の手作り!)が誇らしげな一枚だ。

義母は他人の行動に興味を持っている。

よっちゃん、何て書いてあるの?

これ、旅行のパンフレットよ。

読んでよ。

え~と、この日帰り旅行は1人1万円だね。

じゃあ3万円だね。

義母は認知症だが、計算は早い。しかも、しっかり自分も行くとりだ。(「2人で行。という事もある」)

ある日、娘ムコの実家から宅配便の荷物が届いた。



やっぱり息子がかわいいんだね。



私は何にも持て来ないね!?



義母が我が家に来る前、月に一度娘が様子を見に行っていた。



そして義母は荷物を自転車に載せ、駅まで運んでくれたのだ。



そんな義母も80歳を過ぎて右目が見えなくなると、自転車に乗ることもできなくなった。



病院の待合室にて...



義母が娘の腕につかまって歩いている。











